

平成 20 年 9 月受託研究審査委員会の結果について

受託研究審査委員会第 2 委員会
委員長 是恒 之宏

先に申し込みのあった新規自主研究、継続自主研究について独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター受託研究取扱規程第 4 条第 1 項、国立病院機構 大阪医療センター受託研究審査委員会細則第 5 条第 1 項および同第 5 条第 3 項に基づき、平成 20 年 9 月 30 日審議を行った。

新規自主研究「抗 HIV 療法によるミトコンドリア CK の上昇の臨床的意義の解明」、「薬剤耐性 HIV の動向把握のための調査体制確立およびその対策に関する研究」、「変形性股関節症に対する骨吸収抑制薬剤アレンドロネート投与の臨床的有効性の検討」、「下部消化管術後感染症に対する免疫グロブリン製剤と抗菌薬の併用療法に関する臨床研究」、「ラミブジン単剤投与中の B 型慢性肝炎疾患症例に対するラミブジン継続投与群とエンテカビル切り替え投与群でのランダム化比較臨床試験-B 型肝炎ウイルス遺伝子型毎の薬剤耐性メカニズムの解明-」については修正の上承認とした。「QOL と効用値をアウトカムとした白内障手術の効用評価に関する多施設共同研究」については却下とした。

実施計画書記載内容等変更報告 7 課題については変更を承認した。

継続自主研究 14 課題については、特に問題なく継続実施を承認した。

国立病院機構本部の臨床研究中央倫理審査委員会にて実施承認を得て当院にて実施する臨床研究 1 課題について、当院迅速審査にて実施承認されたことが報告された。